



市内のがんばるものづくり企業を紹介します だいせんものづくり図鑑

no.32

西仙北地域の土川地区で子ども服の製造を行っているのが、株式会社ファミリアソーイング秋田(大瓦剛代表取締役)です。

ベビー子ども服メーカーの株式会社ファミリア(本社・兵庫県、岡崎忠彦代表取締役)の協力工場として1966(昭和41)年、旧大森町(現在の横手市)に大森工場を設置。その後、現在の社名で子会社化され、2002(平成14)年に旧西仙北町に工場を設置しました。現在も製品はすべてファミリアに出荷しています。

同社が手がけるのは、主に女の子向けの洋服。入学式や卒業式など子どもたちの新しい門出にふさわしいアンサンブルや、外



手仕事でつくる「愛情品質」

(株)ファミリアソーイング秋田 西仙北工場

製造品目／子ども服製造

従業員数／21人

※今回の案内人は課長の加藤健志さんと検査仕上班長の齋藤真紀さんです。

出が楽しくなるようなお出かけ着などを手作業による熟練の技術で仕上げています。人の手が生み出すぬくもりと高級感あふれる製品は高い評価を得ており、「ハレの日」の洋服としてファミリア層に支持されています。

親会社のファミリアを子ども服業界の代表企業に育て上げた創業者の一人、板野惇子さん(故人)はNHKの連続テレビ小説「べっぴんさん」(2016年10月3日〜2017年4月1日放送)のヒロインモデル。会社の成り立ちも注目を集めているファミリアがモットーに掲げる「愛情品質」のつとめ、品質に妥協しないものづくりに取り組んでいます。